

一般質問

・これからの財政計画について



水野克尚

問

9月定例会の決算審査において、御前崎市の財政運営が大変厳しいことがわかりました。

約170億円の予算の内、歳入の約20億円が財政調整基金の取り崩しなどにより繰り入れました。この基金残高は平成27年まで増加していましたが、その後、毎年減少となり、令和元年度残高は最低必要額の30億円に届きそうです。歳入確保について市長の考えは

答

新規財源の確保や事業見直しによる歳出削減が急務であり、使用料や手数料などを精査し、上下水道料金の見直しなどにも着手していきます。

問

歳出についてケーブルテレビや下水道など近隣市にない施設もあり、一概に予算規模が多いとも言いきませんが、削減は待ったなしです。各種団体や個人への補助金、交付金も削減が必需要で、市立病院、上下水道、振興公社やゴミ焼却場へ手をつける必要もあります。市長の考えは

答

市から交付する補助金や交付金など効果を検証しながら指針などを踏まえ見直します。また、維持修繕に多額な費用を要する公共施設についても、総合管理計画に沿って施設の数と規模の適正化を進めていきます。

問

御前崎総合病院への支出は16億円強と一般会計の約10分の1を占めています。総合病院は近隣4市にあり、医師と患者を取り合っています。厚生労働省は公立病院の再編について議論すべきと実名をあげて公表されました。批判もありますが、医師などの不足解消と質の向上を図る意味で絶対の好機と捉え広域化を検討すべきと考えますが市長の考えは

答

市立病院は原子力発電所立地に基づき、万一の際に医療を提供する役目もあると認識しています。現状、近隣病院との再編の話はなく、独自で運営していく体制を作りたいと考えます。

一般質問

- ・大栄環境焼却場誘致について
- ・災害における対策について
- ・電力会社からの資金還流について



清水澄夫

問

市長は住民投票を支持する発言を繰り返してきた。開票された段階で、その結果に関わらず、住民の立場で行動を貫く決意は有るか、また、捺印は誰かに相談したか

答

住民投票条例では市長は過半数の意思を尊重するようになっていく。開票結果を踏まえ、然るべき対応を取っていきます。捺印については住民の皆さんには大変な心配をお掛けした。捺印は私の判断で行いました。

問

台風15、19号は御前崎市を直撃し、住民の不安は深刻だった。豪雨による土砂崩れ、川の氾濫で住宅や学校、介護施設など警戒すべき箇所がある。対策は取れているか

答

近年、台風やゲリラ豪雨で大規模な水害が全国で発生し、本市でも市民の生命と財産を守る上で、水害対策は重要です。土砂災害については警戒地域を指定してハザードマップや防災マッ

問

を配布し啓発しています。

問

関西電力の社長他20人に3億2千万円の金品受領問題が発覚し国民の怒りがかついている。これは電力会社、下請け業者、行政の癒着が発覚したものだ。これらの問題は全国すべての電力会社で同様の問題があるのではないかと不信を募らせている。浜岡原発の建設、増設時には資金還流が無かったか調査すべきだ。また、浜岡原発は1、2号機の廃炉工事が進められている。この点についても調査すべきでは

答

関西電力における金品授受問題を受け、中部電力に状況確認を行い「同様な事例は無かった」との報告を受けた。また、中部電力では、11月26日に「中部電力グループ贈収賄・腐敗防止方針」が制定され、コンプライアンスの徹底に向けて取り組んでいる。そのため、市としては調査する必要はないと考えています。